

令和4年度沖縄域外競争力強化促進事業費補助金の成果概要

事業実施主体	オキナワパウダーフーズ株式会社
プロジェクト名	機能性に優れた沖縄素材を、域外で通用するハイレベルな殺菌粉末に加工する為の施設整備事業
事業内容	ハイレベルな殺菌粉末加工施設の整備を達成する為の具体的なプロジェクトの内容としては、以下の3点。 <u>1. 素材の色や栄養素を極力損なわず殺菌できる「過熱蒸気殺菌装置」の導入</u> <u>2. 0.1mm (150mesh) 以下の超微粉碎が可能となる「微粉碎装置」の導入</u> <u>3. 県外・海外でも通用するISOやGMPといった「国際的認証資格」の取得</u>
今後の計画	令和6年度：127,680千円（県内：44,520千円 県外：83,160千円） 令和7年度：134,070千円（県内：46,750千円 県外：87,320千円） 令和8年度：140,775千円（県内：49,085千円 県外：91,690千円）
最終目標と現状	最終目標）令和9年度までに、売上金額147,820千円 (県内：51,540千円 県外：96,280千円) 現状）当初予定していたオーストラリア向けのバガス案件は諸々の理由により失注となつたが、県内事業者からの殺菌粉碎依頼は順調に伸びており、また、県外向けの紅芋やヨモギ、泡盛酒粕等その他素材の受注が着実に伸びており、最終目標は達成見込み。
補助事業の効果	事業内容 本事業で施設整備をしっかりと行った事で、2023年10月にISO22000認証を取得でき、さらに1年後の定期審査も登録承認を受ける事ができた。 県外・海外へのさらなる販路拡大に向けて、引き続き品質管理に取り組む。 過熱蒸気殺菌装置(HTST)を稼働後、島桑、ウコン、モリンガ、長命草、ヨモギ、バタフライピー、シークワーサーなど、県内事業者から数多くの沖縄県産素材の殺菌粉碎加工依頼が増加し、具体的に県外外注からの県内内製化が進んでいる。 自社においても、今まで県外外注していたカンダバーやヨモギといった青汁原料の内製化が達成でき、品質の向上とコストダウンの両方を達成する事ができた。 さらに、サトウキビバガスパウダーの微粉碎に関しても、目標とする0.1mm以下の微粉碎で、且つ時間当たり10kg程度の処理量が達成できた。これは本設備導入前の処理量（2~3kg/h）からすると約3~4倍の生産性の向上を達成できた。

写真・図



ISO22000認証



過熱蒸氣殺菌装置(HTST)



微粉碎裝置(2軸混練押出機)